

環境活動レポート

平成 23 年 3 月 17 日

三光電機株式会社

担当者	承認者

御挨拶

2010年10月生物多様性に係る会議 COP10 が名古屋市で開催されました。人類が生態系によるサービスに大きく依存しており、今後も恩恵を受け続けられるためには、それぞれが今からできることを行動に移すことが求められます。

このような中で、当社はE A21 環境行動計画において、CO₂削減、廃棄物および紙使用量の削減努力は元より、当社の本領であります環境に配慮した省エネ機器の販売、および省エネ提案を通じて、企業様のCO₂削減努力のお役に立つべく全社一丸となって取り組んでまいりました。

前年度は、金融収縮の影響から売上減少が著しく、二酸化炭素排出量の絶対量こそ減少したものの原単位目標には及びませんでした。

今年度は政府による不況対策効果もあり景気は回復基調となり、当社も前年度比130%まで売り上げが回復いたしました。

二酸化炭素排出量の削減では、35期比較では大幅な改善となりましたが、目標には未達でした。

要因として、前年の大幅未達を受けまして、今年度目標を前年実績としたため売上の回復とともに、絶対量が増加したためです。

一方、環境に配慮した省エネ機器の販売におきましては、昨夏の猛暑やエコポイントの追い風もあり、対象5部門合計では179,594kg CO₂/年の削減増加となり、129%の達成率でした。

個別では、目標比でPACエアコンは172%、インバーターは148%でした。

今後も、企業様をはじめ省エネへの関心は一層高まるものと思われ、提案力を発揮し、昨年を上回る販売活動に注力していく所存です。

これからも経済環境は予測のできない状況が続くものと思われ、この中で少しでも地球環境保全のための活動を強力に推進していく所存です。

以上、弊社の環境保全活動への取組と姿勢をご理解賜ると共に、皆々様方から、ご指導ご鞭撻賜れば幸いです。御座います。何卒、宜しく願い申し上げます。

三光電機株式会社

代表取締役 大石久雄

(組織の概要)

1. 会社名 三光電機 株式会社
2. 代表者 代表取締役 大石久雄
3. 所在地・本社 浜松市東区植松町 2 5 5 - 1
- ・(Tel) 0 5 3 - 4 6 0 - 8 5 0 0
 - ・(Fax) 0 5 3 - 4 6 0 - 8 5 3 0
 - ・(H.P) <http://www.tacs-sanko.com>
- ・掛川営業所 掛川市杉谷 1-9-2
- ・(Tel) 0 5 3 7 - 2 4 - 5 1 2 1
 - ・(Fax) 0 5 3 7 - 2 4 - 6 7 6 5
4. 資本金 4 4, 0 0 0 千円
5. 設立年月 1 9 7 5 年 (昭和 5 0 年) 7 月
6. 事業年度 2 月 2 1 日 ~ 2 月 2 0 日
7. 事業の内容 電設資材・制御機器・換気空調機器等の卸売
FA 制御・管工事・電気工事&メカ等の設計施工。
ソフト開発。
8. 建設業許可番号 静岡県知事許可 (特-17) 第 2 9 3 1 1 号
9. 建設業の種類 電気工事業・管工事業・電気通信工事業・消防施設工事業
10. 認証 登録日 2005 年 4 月 27 日
登録番号 0 0 0 0 2 9 7

10. 事業規模

項目	第 34 期	第 35 期	第 36 期
売上高	3,078 百万円	1,753 百万円	2,306 百万円
従業員数	61 名	59 名	60 名
床面積	2064.6M ²	2064.6M ²	2064.6M ²
車両台数	43 台	43 台	38 台
	全社	全社	全社

11. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話 053-460-8500 及び Email)
- 責任者 取締役管理部長 山下 治 (o-yamashita@tacs-sanko.com)
- 副責任者 総務部長 河合 克成(k-kawai@tacs-sanko.com)

環境方針

我社は経営理念「我社は常に質的向上を目指し、至誠と奉仕の精神に基づき、顧客に最大の利益と満足を与え、会社に高い利潤と繁栄をもたらし、社員に最大の幸福を与える事に企業の存在価値を見出し、この三位一体の合致点を追求する事を持って経営理念とする」**に基づき、TACS**（商流力の強い総合エンジニアリング会社）**思想の具現化を目指す企業として、地球環境問題への取組が、当社が果すべき重要問題である事を認識し、自らが責任を持ち、全社一丸となって、環境への負荷軽減に努めます。**

事業活動を遂行するにあたり、地域及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、その実現に取り組めます。

① 取扱商品販売とシステム設計・施工を通じた地球環境保全

省エネ型照明器具・INV システム等省エネ商品の積極的販売活動とボイラシステム・FA システム・電気&空調工事等地球環境負荷の少ない設計・施工を心掛け、CO₂排出量の削減に努めます。

② 資源、エネルギーの効率的利用やグリーン購入に努めます。

事業所における資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、省資源・省エネルギー・リサイクル・節水・そして、グリーン購入に努め、継続的環境改善に取り組めます。

③ 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表するとともに、販売や施工上の環境負荷に関する情報を開示し、社内外に環境保護に関する情報の提供を行います。

毎週一回・交代で、会社周辺のゴミ拾い等美化活動を行い、地域の社会貢献活動の推進に努めます。

平成 15 年 12 月 22 日制定
平成 18 年 3 月 30 日改定

三光電機株式会社

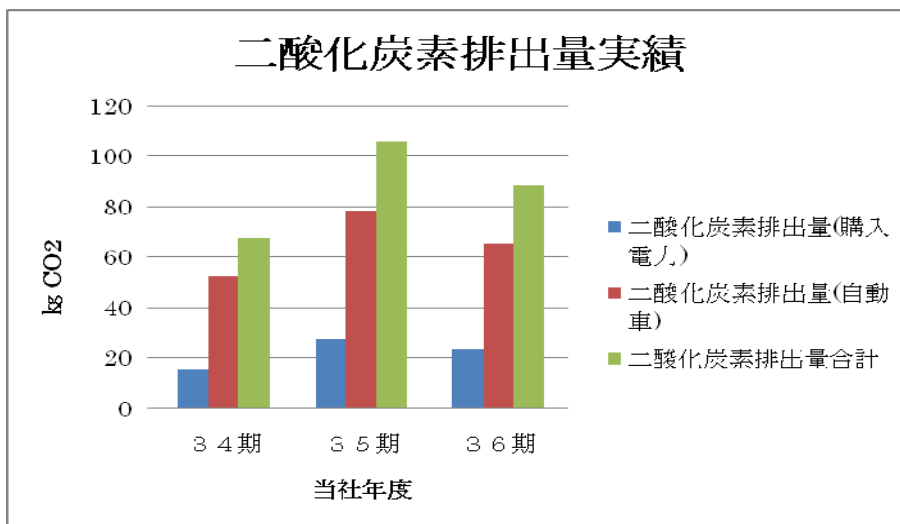
代表取締役 大石久雄

(環境目標及びその実績)

1.目標の達成状況

(A) 下記目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

(1) 二酸化炭素排出量の実績は下記の通りです。



項目	単位	34期実績 (H21/2期)	35期実績 (H22/2期)	36期目標 (H23/2期)	36期実績 (H23/2期)
二酸化炭素排出量(購入電力)	kg-CO ₂ /百万円	15.33	27.47	20.06	23.31
売上高当		47188/3078 排出係数 0.378	48157/1753 排出係数 0.455	前年実績/ 売上目標	53742/2306 排出係数 0.455
二酸化炭素排出量(自動車)	kg-CO ₂ /百万円	52.43	78.56	57.38	65.35
売上高当 車両台数		161391/3078 43台 1,562L/台	137724/1753 43台 1,344L/台	前年実績/ 売上目標	150688/2306 39台 1,632/台
二酸化炭素排出量合計	kg-co ₂ /百万円	67.76	106.03	77.44	88.65
売上高当		208579/3078	185881/1753		204430/2306

* 目標値に対して、未達となりました。

a) 購入電力 kg-co₂/売上は、掛川 5,035/257=19.6 浜松 48,707/2,049=23.8 全社 23.3 と前期比▲4.2%と改善されましたが、目標にはいたりませんでした。

購入電力量の 36/35 期比は掛川 11,065/12,048kwh=8.1%減・浜松は 107,049/93,793kwh=14.1%増 全社 118,114/105.841kwh=11.6%増となりました。

売上は 35 期比で掛川 92.8%,浜松 138.8% 全社 131.5%と回復に伴い購入電力は増加しました。35 期との原単位比較においては改善されましたが、目標にはいたりせず、一段の努力が必要との認識をしています。

b) 化石燃料 kg・co₂/売上は掛川 19,535/257=76.0 浜松 131,152/2,049=64.0 となり
売上の回復で、前期比改善されました。

消費量は 35 期比掛川 7,999/10,094=79.2%,浜松 55,644/47,707=116.6%と
なり,全社では増加しました。

台当りの化石燃料消費量は 121.4%と増加しました。

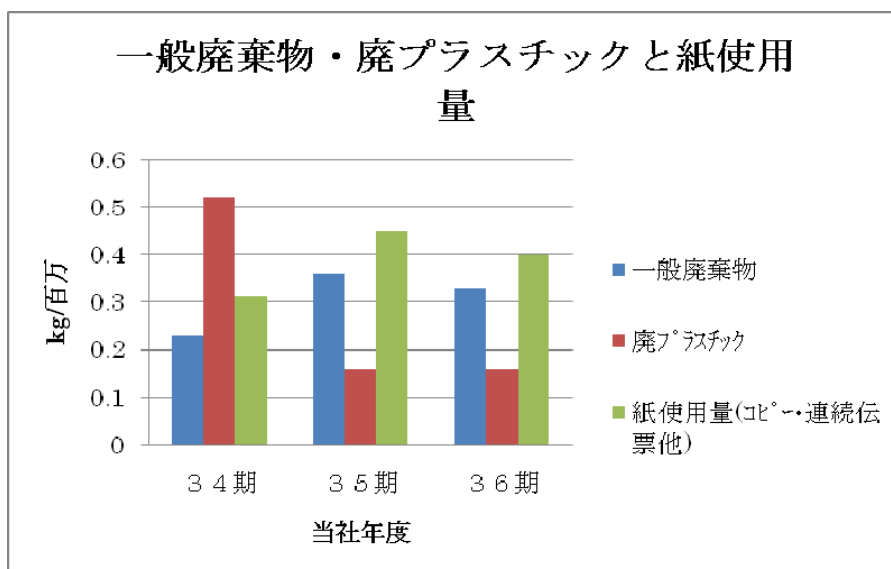
エコドライブ 10 カ条の励行等の実施により消費量の削減に努めました。

売上げの回復に伴い原単位あたりの数値は 35 期比で改善いたしました。

しかし目標値を前年実績としたため、消費実績に見合う売上げ確保にいたりませ
んでした。

引き続き削減努力を徹底いたします。

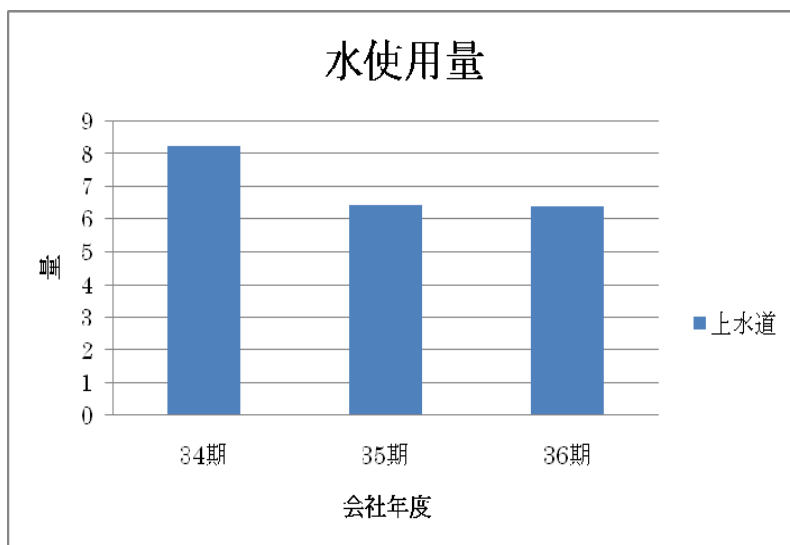
(2) 一般廃棄物・廃プラスチックと紙使用量。



項目	単位	34期実績 (H21/2期)	35期実績 (H22/2期)	36期目標 (H23/2期)	36期実績 (H23/2期)
一般廃棄物	kg/ 百万	0.23	0.36	0.26	0.33
売上高当		703/3078	634/1753	前年実績/売上	765/2306
廃プラスチック	kg/ 百万	0.52	0.16	0.12	0.16
売上高当		1595.9/3078	284/1753	前年実績/売上	367/2306
紙使用量(コピー・連続伝票他)	kg/ 百万	0.313	0.45	0.33	0.40
売上高当		966/3078	794.4/1753	前年実績/売上	922.6/2306

PAC 型エアコン内外機(フロン破壊処理後)・撤去品の鉄・鉄くず&非鉄金属類等は買取処理を
御願ひできますが、発泡スチロールは需要減少のため買取不可になり、産廃としての処
理に切り替わります。35 期比較では改善しましたが、紙使用量は増加し、目標にはい
たらず、引き続きペーパーレス化をすすめ、紙使用量の削減に努力いたします。

(3) 水使用量



項目	単位	34期実績 (H21/2期)	35期実績 (H22/2期)	36期目標 (H23/2期)	36期実績 (H22/2期)
上水道	M ³	8.23	6.44	6.13	6.35
	/人	502/61	380/59	前年実績/売上	381/60
		浜松 424/56 掛川 78/5	浜松 322/54 掛川 58/5		浜松 327/56 掛川 54/4

35期比較で、使用料はほとんど変わらず、節水効果は浸透しているものと思われませんが、今後についても、節水に努めます。

(4) 環境配慮商品の実績

	項目	35期実績	36期目標	36期実績
①	あかり安心サービス推進 (t)	8.61 t	11.0 t	8.48 t
②	省エネ型 HF 照明器具	45,831 Kg-CO ₂	131,950 Kg-CO ₂	90,934 Kg-CO ₂
③	PAC 型エアコン (業務用省エネ)	167,200 Kg-CO ₂	191,100 Kg-CO ₂	328,747 Kg-CO ₂
④	オール電化推進 (エコキュート)	33,600 Kg-CO ₂	42,000 Kg-CO ₂	48,600 Kg-CO ₂
⑤	インバータ	223,200 Kg-CO ₂	218,400 Kg-CO ₂	322,430 Kg-CO ₂
⑥	太陽光発電システム		36,890 Kg-CO ₂	9,223 Kg-CO ₂

今期も環境配慮商品の販売に力を入れました。省エネ提案によるインバータ採用実績は35期比較で148%、PAC型エアコンは172%と猛暑・エコポイントの追い風もあり、CO₂削減に大きく貢献できました。

(2) 今年度以降の目標

1. 事業活動状況(掛川営業所含め全社で推進する)

項目	第33期 実績 20.2.20 (掛川含む)	第34期 実績 21.2.20 (掛川含む)	第35期 実績 22.2.20 (掛川含む)	第36期 実績 23.2.20 (掛川含む)	第37期 計画 23.2.20 (掛川含む)
売上	3,370 百万円	3,078 百万	1,753 百万	2,306 百万	2,500 百万
社員数	59 名	61 名	59 名	60 名	62 名
売上/社員	57,119 千円	50,459 千円	29,712 千円	38,433 千円	40,323 千円
車両台数	39 台	43 台	43 台	38 台	40 台
床面積	1569.6M ²	1569.6M ²	1569.6M ²	1569.6M ²	1569.6M ²
掛川面積	430M ²	500M ²	500M ²	500M ²	500M ²

2. 環境活動による目標 (第37期)

	二酸化炭素 排出量(購 入電力) kgCO ₂ /百 万	二酸化炭素 排出量(自 動車) kgCO ₂ /百 万	一般廃棄 物 kg/百 万	廃プラスチック Kg/百万	紙使用量 Kg/百万	水道量 m ³ /人
36期実績	23.31	65.35	0.33	0.16	0.40	6.35
37期目標	23.08	64.70	0.32	0.15	0.39	6.29
38期目標	22.85	64.05	0.31	0.14	0.38	6.22
39期目標	22.62	63.41	0.30	0.13	0.37	6.16

※37期以降は前年の1%削減とする

3. 環境に配慮した販売活動の目標(第37期)

	項目	36期実績	37期目標	38期目標	39期目標
①	あかり安心 サービス推進	8.48 t	11.0 t	12.0t	13.0 t
②	省エネ型 HF 照明器具	90,934 Kg-CO ₂	104,650 Kg-CO ₂	110,000 Kg-CO ₂	115,000 Kg-CO ₂
③	PAC 型エアコン (業務用省エネ)	328,747 Kg-CO ₂	382,200 Kg-CO ₂	400,000 Kg-CO ₂	420,000 Kg-CO ₂
④	オール電化推進 (エコキュート)	48,600 Kg-CO ₂	60,000 Kg-CO ₂	63,000 Kg-CO ₂	66,000 Kg-CO ₂
⑤	インバータ	322,430 Kg-CO ₂	218,400 Kg-CO ₂	230,000 Kg-CO ₂	240,000 Kg-CO ₂
⑥	太陽光発電システ ムの販売	9,223 Kg-CO ₂	36,890 kg-CO ₂	38,700 Kg-CO ₂	40,500 Kg-CO ₂
⑦	LED 照明		47,775 kg-CO ₂	50,000 kg-CO ₂	52,500 kg-CO ₂
⑧	エコ対象商品 販売活動他	上記以外、取扱 商品の省エネ機器 の販売に注力し ています。	上記以外、取扱 商品の省エネ機 器の販売に注 力しています。	上記以外、取扱 商品の省エネ機器 の販売に注力し ています。	上記以外、取扱 商品の省エネ機器 の販売に注力し ています。

(主要な環境活動計画の内容)

(1) 数値目標を達成する為の取組

①二酸化炭素排出量(引き続き次の取組を強化推進します)

- a. 安全とエコ運転に心掛ける為、全員にエコドライブ 10ヶ条を携帯させます。
- b. 車両別担当別の走行実績を把握し、個別燃費の改善を図ります。
- c. 始業点検・定期点検を実施し、積載物除去・タイヤ圧等負荷軽減に努めます。
- d. アイドリング・冷房・暖房等走行以外のエンジン点火をやめ無駄を排除します。
- e. 節電に努め、無人スペースの消灯・不使用時パソコン等電源OFFにします。
特にフロア毎の電力の見える化を図り、問題解決に当たります。
- f. 効率空調に努め、夏 28 度・冬 20 度の基準運転を厳守します。
- g. 残業時間の規制を実施し電力消費削減を行います。

②環境に配慮した商品の販売による CO2 の排出削減

- a. あかり安心サービスの推進による蛍光ランプのリサイクル
- b. 省エネの照明(含 LED 照明器具)、空調の提案・拡販
- c. オール電化(エコキュート他)の推進・拡販
- d. インバータの採用による省エネ運転の提案
- e. 太陽光発電システムの提案・施工

③産業廃棄物・廃プラスチック排出量・紙使用量の削減(リサイクルに関する取組)

- a. 現場からのゴミの徹底分別、破砕証明書の管理の徹底に尽力します。
- b. 梱包材の改善や通い箱等の活用による発泡スチロール等の更なる削減に努力致します。
- c. 社内使用紙は全て裏紙使用を徹底し使用削減に努めます。
尚、社内メールの活用等ペーパーレスの工夫を強化致します。
- e. 環境に配慮した事務用品等を使用します(グリーン購入)

(2) その他の取組

①地域・社会貢献活動の推進。

- a. カンベン会・三工会での環境問題に対するお願いとレクチャーを繰返し実施した結果・仕入先・外注先の意識向上と協力体制が構築出来つつある。
ISO9001 品質目標のマネジメントシステムとあわせ、強力に社内外とも教育・啓蒙活動に更に力を入れていく所存です。
- b. 会社周辺の週 1 回・10 分間清掃を継続する。

②設計及び工事管理における取組（今期も引続き継続実施いたします）

- a. 設計時には省エネタイプの機器を選定し小型化軽量化に努める。
- b. 工事管理においては作業前ミーティングにて下記の事項を徹底している。
 - ・ 廃材・ごみの管理の徹底
 - ・ 工事排水の注意
 - コンクリート使用時、はつり、解体コンクリートは側溝等に流させない。
 - ・ 解体・撤去時にオイルの流出に気をつけあらかじめ可能性のある場合は問題ないよう事前処置をとる
 - ・ 工事車両は定期点検を行いオイル漏れのないよう注意する
 - ・ 夜間の工事で騒音が発生する場合は事前にお客様担当者と打ち合わせし騒音対策を実施する
 - ・ 工事中の廃棄物は責任をもって持ち帰る
 - ・ 省エネに努める

(取組結果の評価)

(1) 問題点と対策

- ①一般廃棄物及び廃プラの管理は置き場所も整理し、キロック付にしました。
発泡スチロールは完全リサイクルを目指しました。
- ②家電品・パソコン等リサイクル処理対象商品も明確な管理を行い漏れ防止徹底を図りました。

③化石燃料管理は見える化を図り，絶対量の削減に努めます。

(全体の評価と見直し)

- ① まだまだ展開として具体的改善の実施状況や成果が足りないので、これを全社的に更に徹底して定着化に努力いたします。
- ② 技術部門の個別目標の設定を推進します。
- ③ 今期、グループ体制を中核に毎月の検証の中に EA21 目標を設定し数値化して見える化が出来るように検討していきます。

(環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無)

(1) 環境関連法規等の遵守状況

- a. 遵守すべき法令を見直しその内容を理解の上、必要なものについては手順書を作成して、法規に則り対応しました。

(2) 違反・訴訟等

- a. 違反については関係機関等から、特に指摘は無く、又、訴訟等も同様に1件も有りませんでした。